

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科用象牙質接着材（42483002）
（歯科金属用接着材料（70921000） 歯科セラミックス用接着材料（70815000） 歯科用知覚過敏抑制材料（70926000）
歯科用シーリング・コーティング材（70860000））
（歯科用充填・修復材補助器具（38782000））

ジーシー G2-ボンド ユニバーサル

再使用禁止：ディスポーザブルアプリケーションターⅡ

【禁忌・禁止】

- ・メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー、アセトンに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・再使用禁止（ディスポーザブルアプリケーションターⅡ）
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状・構造及び原理等】

構成品	形状
1-プライマー	ボトル：液（5 mL）
2-ボンド	ボトル：液（5 mL）

構成品	組成
1-プライマー	水、4-メタクリロキシエチルトリメリット酸、リン酸エステル系モノマー、チオリン酸エステル系モノマー、メタクリル酸エステル、アセトン、フィラー、重合開始剤
2-ボンド	メタクリル酸エステル、フィラー、重合開始剤

付属品：ディスポーザブルアプリケーションターⅡ、ディスポディッシュ、1-プライマー用ボトルカバー、2-ボンド用ボトルカバー

原理

- 1) G2-ボンド ユニバーサルによって歯質を脱灰すると同時にモノマー成分が浸透し、その後、光照射することによってモノマー成分が重合し、歯質と接着する。
- 2) チオリン酸エステル系モノマーが貴金属表面と結合することによって、貴金属と接着する。
- 3) リン酸エステル系モノマーが非貴金属、ジルコニア、アルミナ表面と結合することで、非貴金属、ジルコニア、アルミナと接着する。
- 4) シランカップリング材で処理したポーセレン、ニケイ酸リチウムガラス、コンポジットレジン表面と結合することで、ポーセレン、ニケイ酸リチウムガラス、コンポジットレジンと接着する。
- 5) 知覚過敏症で露出した象牙細管内に浸透、硬化し、象牙細管内を封鎖することで知覚過敏を抑制する。
- 6) 1-プライマーとG-プレミオ ボンド DCAを混合した液が歯質を脱灰すると同時にモノマー成分が浸透する。その後、歯科接着用レジンセメント（ジーセム リンクフォース）を用いて合着することで、G-プレミオ ボンド DCAとジーセム リンクフォースが反応し、1-プライマー、G-プレミオ ボンド DCA及びジーセム リンクフォースが共に化学重合、硬化することで歯質と接着する。また、プライマーを用いてコアの前処理を行った後に1-プライマー、G-プレミオ ボンド DCAを混合した液と歯科接着用レジンセメント（ジーセム リンクフォース）を用いて合着することで、同様にコアと接着する。
- 7) 1-プライマーによって歯質を脱灰すると同時にモノマー成分が浸透し、その後、光照射することによってモノマー成分が重合する。歯科接着用レジンセメント（ジーセム リンクフォース）を用いて合着、硬化することによって、歯質と接着する。

- 8) 1-プライマー、G-プレミオ ボンド DCAを混合した液が歯質を脱灰すると同時にモノマー成分が浸透する。その後、歯科用支台築造材料（ユニフィルコアEM）を填入することで、G-プレミオ ボンド DCAとユニフィルコアEMが反応し、1-プライマー、G-プレミオ ボンド DCA及びユニフィルコアEMが共に化学重合、硬化することで歯質と接着する。
- 9) 形成した窩洞や支台歯などの象牙細管内に浸透、硬化し、封鎖する。

【使用目的又は効果】

- 1) 歯科用光重合型コンポジットレジンと歯質との接着に用いる。
- 2) 露出根面等（実質欠損をほとんど含まない症例）の修復処置に用いる。
- 3) 歯科用光重合型コンポジットレジンと金属、セラミックス、コンポジットレジンのいずれかをを含む修復物との接着に用いる（修復物の補修修復）。
- 4) 知覚過敏抑制に用いる。
- 5) 歯科接着用レジンセメント（ジーセム リンクフォース）と併用しセラミック、レジン、金属製の修復物及び装置と歯牙及びコアとの接着に用いる。（G-プレミオ ボンド DCAを併用する。ラミネートベニアの場合にはG-プレミオ ボンド DCAを併用しない。）
- 6) 歯科用支台築造材料（ユニフィルコアEM）と併用し、歯科用支台築造材料と歯牙との接着に用いる。（G-プレミオ ボンド DCAを併用する。）
- 7) 象牙細管の封鎖、又は歯質と修復物、補綴物等との界面の封鎖に用いる。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。
- 2) 光照射（照射時間・光強度）が不十分な場合には、接着力が低下するので注意すること。また、窩洞が深い場合など照射口がボンディング材塗布面に近づけられない場合には、【使用方法等】に記載されている窩洞が深い場合を参照して光照射を行うこと。
- 3) 使用する歯科用光重合型コンポジットレジンの実用硬化深度以上の充填厚では、接着力が低下するので注意すること。

【使用方法等】

使用方法

1-プライマーは、容器を軽く振った後、2-ボンドは、容器を振らずに、清浄な採取皿に滴下し、ディスポーザブルアプリケーションターⅡで修復面に塗布します。1-プライマーと2-ボンドは別の採取皿に採取し、別のディスポーザブルアプリケーションターⅡを使用します。*

1. 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復
露出根面等（実質欠損をほとんど含まない症例）の修復処置
- 1) 通法に従い、窩洞形成を行います。
- 2) 水洗後、エアにより歯面を乾燥します。
- 3) 露髄部分や歯髄に著しく近接した場合には、通法に従って、水酸化カルシウム製剤などで覆髄処置を行います。

- 4) 1-プライマーをディスポーザブルアプリケーションIIで歯面に塗布します。10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
(エナメル質への接着を重視する症例では、歯科用エッチング材(エッチャント等)で処理後、水洗、乾燥を行ってから、本品を使用することをお勧めします。また、非切削エナメル質に対しては、必ず歯科用エッチング材(エッチャント等)で処理後、水洗、乾燥を行います。)
 - 5) 2-ボンドをディスポーザブルアプリケーションIIで、1-プライマー処理後の歯面に塗布し、弱圧エアで均一な層にします。
 - 6) 歯科用可視光線照射器で光照射します。
コービー※1 10秒 (窩洞が深い場合: 20秒以上)
G-ライト※2 5秒 (窩洞が深い場合: 10秒以上)
G-ライト プリマII Plus※2 5秒 (F5モード)
(窩洞が深い場合: 10秒 (10モード))
LED照射器※3 10秒 (窩洞が深い場合: 20秒以上)
スリムライト※4 5秒 (Ramp up モード) *
(窩洞が深い場合: 10秒 (Low モード)) *
 - ※1 コービー:
ハロゲンランプを採用した歯科用可視光線照射器
 - ※2 G-ライト/G-ライト プリマII Plus:
青色LED及び紫色LEDを採用した歯科用可視光線照射器
 - ※3 LED照射器:
他社のLEDを採用した歯科用可視光線照射器、460~480nmの波長をカバーしており、光出力が450 mW/cm²以上のもの。
 - ※4 スリムライト:
青色LED及び紫色LEDを採用した歯科用可視光線照射器 *
 - 7) 歯科用光重合型コンポジットレジン、その使用方法に従い充填・形成し、歯科用可視光線照射器で硬化させます。
 - 8) 通法に従い、形態修正及び研磨を行います。
2. メタルボンド (金属焼付ポーセレン前装冠)、硬質レジン前装冠等の補修修復
 - 1) 修復面をダイヤモンドバー等を用いて粗造化します。
 - 2) 水洗後、エアにより修復面を乾燥します。
 - 3) 歯科用シランカップリング材を用いて、ポーセレンおよびコンポジットレジンの表面処理を行います。金属や歯質を含む場合は、シランカップリング材は金属や歯質にはなるべく塗布しないでください。
 - 4) 1-プライマーを、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて修復面全体に塗布します。10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 5) 2-ボンドをディスポーザブルアプリケーションIIで、1-プライマー処理後の歯面に塗布し、弱圧エアで均一な層にします。
 - 6) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射、充填、研磨を行います。
 3. オールセラミックスクラウン (ジルコニア、アルミナを除く)、ハイブリッドレジンクラウン (CAD/CAM 冠を含む)、歯科充填用コンポジットレジン等の補修修復
 - 1) 修復面をダイヤモンドバー等を用いて粗造化します。
 - 2) 水洗後、エアにより修復面を乾燥します。
 - 3) 歯科用シランカップリング材 (G-マルチプライマー等) を用いて、ポーセレン、ニケイ酸リチウムガラス及びコンポジットレジンの表面処理を行います。歯質を含む場合は、シランカップリング材は歯質にはなるべく塗布しないでください。
 - 4) 1-プライマーを、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて修復面全体に塗布します。10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 5) 2-ボンドをディスポーザブルアプリケーションIIで、1-プライマー処理後の歯面に塗布し、弱圧エアで均一な層にします。
 - 6) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射、充填、研磨を行います。
 4. ポーセレンジルコニア前装冠、ポーセレンアルミナ前装冠、フルジルコニアクラウン等の補修修復
 - 1) 修復面をダイヤモンドバー等を用いて粗造化します。
 - 2) 水洗後、エアにより修復面を乾燥します。
 - 3) 歯科用シランカップリング材を用いて、ポーセレン、ニケイ酸リチウムガラスの表面処理を行います。ジルコニア (アルミナ) や歯質を含む場合は、シランカップリング材はジルコニア (アルミナ) や歯質にはなるべく塗布しないでください。
 - 4) 1-プライマーを、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて修復面全体に塗布します。10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 5) 2-ボンドをディスポーザブルアプリケーションIIで、1-プライマー処理後の歯面に塗布し、弱圧エアで均一な層にします。
 - 6) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射、充填、研磨を行います。
 5. 知覚過敏抑制
 - 1) 通法に従って歯面の清掃を行い、水洗、乾燥します。
 - 2) 1-プライマーを、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて歯面に塗布します。10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 3) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射します。
 - 4) 硬化後、綿球などを用いて表面の未重合層を除去します。
 6. 歯科接着用レジンセメントを用いた修復物の接着 (ラミネートベニアを除く)
 - 1) 通法に従い、支台歯又は根管の形成を行います。
 - 2) 支台歯にメタルコアやレジンコアが含まれる場合はG-マルチプライマー等を支台歯全体に塗布し、強圧エアにて5秒間乾燥させます。
 - 3) 1-プライマーとG-プレミオ ボンド DCAを採取皿に1滴ずつ採取し、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて混和後、支台歯又は根管に塗布します。
 - 4) 20秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 5) 修復物の合着を行います。
 - 6) 詳細は、歯科接着用レジンセメント (ジーセム リンクフォース) の添付文書に従うこと。
 7. 歯科接着用レジンセメントを用いた修復物の接着 (ラミネートベニア)
 - 1) 通法に従い、支台歯の形成を行います。
 - 2) エナメル質に歯科用エッチング材 (エッチャント等) を10秒間塗布し、5秒間水洗した後に乾燥を行います。
 - 3) 1-プライマーを、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて歯面に塗布します。10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 4) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射します。
 - 5) 修復物の合着を行います。
 - 6) 詳細は、歯科用接着用レジンセメント (ジーセム リンクフォース) の添付文書に従うこと。
 8. 支台築造 (直接法)
 - 1) 通法に従い、築造窩洞の形成を行います。
 - 2) 1-プライマーとG-プレミオ ボンド DCAを採取皿に1滴ずつ採取し、ディスポーザブルアプリケーションIIを用いて混和後、接着歯面に塗布します。
 - 3) 10秒放置後、バキュームで吸引しながら強圧エアで十分に乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。
 - 4) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射します。
 - 5) 支台築造を行います。
 - 6) 詳細は、歯科用支台築造材料 (ユニフィルコアEM) の添付文書に従うこと。

9. 窩洞形成面や支台歯形成面のコーティング

- 1) 通法に従い、窩洞形成もしくは支台歯の形成を行います。
- 2) 水洗後、エアーにより歯面を乾燥します。
- 3) 露髄部分や歯髄に著しく近接した場合には、通法に従って、水酸化カルシウム製剤などで覆髄処置を行います。
- 4) 1-ブライマーをディスポーザブルアプリケーションIIで歯面に塗布します。0～10秒放置後、バキュームで吸引しながら、強圧エアで約5秒間乾燥し、揮発成分を除去するとともに本品を薄く延ばします。(エナメル質への接着を重視する症例では、りん酸処理(歯科用エッチング材(エッチャント等))、水洗、乾燥を行ってから、本品を使用することをお勧めします。)
- 5) 歯科用光重合型コンポジットレジンによる充填修復と同様に、光照射します。
- 6) 硬化後、固く絞ったアルコール綿球を用いて、未重合層を除去します。
- 7) 続けて補綴物を装着する場合は、通法に従って印象採得を行い、補綴物を製作します。コーティング面は、仮封材や暫間被覆冠で保護します。
- 8) 製作された補綴物は、セメントにより合着・接着します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 1-ブライマーは、しばらく静置しておくこととフィラーが沈降している場合があるので、ボトルを軽く振ってから採取すること。1-ブライマー、2-ボンドは、塗布直前に採取皿等に採取すること。(採取後は7分以内に塗布すること。付属のディスポディッシュ以外の採取皿を使用する場合は、採取後5分以内に塗布すること。)
- 2) 万一本品を塗布後、水洗してしまったり、唾液がついてしまった場合には、再度水洗から処理を行うこと。
- 3) エアーシリンジ等を使用して歯面の乾燥及び本品塗布面のエアブローを行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。
- 4) 1-ブライマーの塗布面のエアブローが不十分な場合には、十分な接着力が発揮されないことがあるので注意すること。
- 5) 1-ブライマーのエアブロー時は、歯肉溝や接触点部に液溜りがないように、強圧で充分に行うこと。
- 6) 2-ボンドの塗布面のエアブローが強すぎる場合には、十分な接着力が発揮されないことがあるので注意すること。
- 7) 本品の1-ブライマー及び2-ボンドを、混和しないこと。
- 8) 冬季など、温度が低い場合は2-ボンドの粘性が高くなるため、室温に戻してから使用すること。2-ボンドは1-ブライマーに比べて粘性が高いため、ボトルを倒立させた状態で保管すると滴下時間を短縮できます。
- 9) 2種類のボトルカバーには1又は2が刻印されており、それぞれ1-ブライマー、2-ボンド専用のため、入れ間違いに注意すること。

【使用上の注意】

- 1) 使用注意(次の患者には慎重に適用すること)
 - ①薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品及び類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に適用すること。
- 2) 重要な基本的注意
 - ①本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
 - ②本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また、テーブル、床上などにこぼしたときは、すぐに乾いた布で良く拭き取ること。
 - ③本品が衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
 - ④本品の蒸気を多量に吸入すると頭痛等が発症する恐れがあるので、使用する際は適切な換気(1時間あたり数回の換気)がなされている場所で使用すること。また本品の蒸気を多量に吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移動すること。
 - ⑤1-ブライマーは揮発成分を含有するため、適用時は鼻呼吸するように患者に指導すること。

- ⑥本品が、口腔粘膜、皮膚などに付着しないように充分注意すること。患部以外の歯牙に厚く付着したまま重合すると除去がしにくくなるので、光照射の前に綿球で拭き取ること。口腔粘膜、口唇など粘膜面に付着すると炎症(白変、水疱など)を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること。(ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします。)万一、口腔粘膜などに付着した場合には、すぐに綿球で拭き取り、操作終了後に充分に水洗すること。炎症(白変、水疱など)が生じた場合でも、これは一過性の現象であり短期間(1～2週間)で回復することから、炎症(白変、水疱など)を起こした部位にはブラッシングなどの物理的刺激を与えないように患者へ説明を行うこと。また皮膚に付着した場合には、すぐに石鹸で洗浄すること。目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。

- ⑦本品の誤飲には充分注意すること。

- ⑧1-ブライマーは揮発成分を含むことから、使用後は速やかに密栓すること。

- ⑨ボトルのノズルに液が付着した場合、拭き取ってからキャップを装着すること。

- ⑩本品は無影灯の光により硬化することがあるので、無影灯下に置かないこと。

- ⑪光照射の際は、保護メガネなどを使用し、照射光を直視しないこと。

- ⑫光硬化性、接着性は可視光線照射器の照射能力に依存することから、ランプの劣化、ファイバーロッドの汚れに注意すること。

- ⑬他の製品と混用しないこと。

- ⑭本品は、【使用目的又は効果】に記載の用途以外には使用しないこと。

- ⑮本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

- ⑯1-ブライマー及び2-ボンドは、別々のディスポーザブルアプリケーションIIを使用すること。

- ⑰レジン系の仮封材の使用、もしくはレジン系の暫間被覆冠の製作を行う場合は、ワセリン等の分離材を使用すること。

- ⑱本品については、試験によるMR安全性評価を実施していない。(自己認証による)**

3) 相互作用

- (1) [併用禁忌] (使用しないこと)

- ①ユージノール系製剤は、本品の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。

- (2) [併用注意] (使用に注意すること)

- ①仮封材、暫間補綴物等を使用した場合は、仮封材、仮着材が接着面に残留すると十分な接着力が得られないので、超音波スケーラー等を使用して確実に除去し、十分に洗浄すること。

4) 不具合・有害事象

【有害事象】

- (1) その他の有害事象

- 本品の口腔粘膜などへの付着により、白変、発赤、びらん、水疱などの過敏症状が発生することがあります。

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・本品は冷暗所(4～25℃)に保管し、一つの保管庫に大量に保管しない。
- ・使用及び保管場所には、消火装置を備える。
- ・本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

【有効期限】

本品は、包装に記載の使用期限*までに使用する。

※(例 EXP. 2028-06 は
使用期限2028年 6月 を示す。)

【廃棄方法】

- ・1-ブライマーは引火性を有することから、使い切ってから廃棄する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：株式会社ジーシーデンタルプロダクツ
主たる設計元：株式会社ジーシー

発売元：株式会社ジーシー
住所：〒113-0033
東京都文京区本郷3丁目2番14号
電話番号：（お客様窓口）0120-416480